



Challenge Zero



安心・安全の提供と 地球環境との共生に向けた挑戦

MS & A D インシュアランス グループ

「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」ことを経営理念とし、お客さま第一に持続的な成長と企業価値向上を実現するMS & A D インシュアランス グループ。今回は、社会を支える保険・金融グループとして、地球環境との共生の実現に向けステークホルダーと共に取り組む「気候変動への対応」にスポットを当てる。

「リスクソリューションのプラットフォーマー」

三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険などのグループ保険会社を有するMS & A D インシュアランス グループは、2010年に誕生した。2022年度からスタートした中期経営計画では、「リスクソリューションのプラットフォーマー」として社会と共に成長し、レジリエントでサステナブルな社会を支える企業グループを目指している。

「気候変動への対応」については、温室効果ガス排出量を2019年度対比で2030年度に50%削減し、2050年度にはネットゼロとする目標を掲げている。グループ自身の環境負荷低減に向けた取り組みに加え、保険やコンサルティングの提供を通じて、気候変動による異常気象が企業などの活動に与える影響への対策を提供。脱炭素社会への移行に貢献する商品・サービスの開発を通じ、安定した生活と活発な事業活動の営みにはならない、まさに「リスクソリューションのプラットフォーマー」としての役割を果たしている。

ステークホルダーと共に社会全体の脱炭素化を

商品・サービスの一例を紹介しよう。あいおいニッセイ同和損害保険のテレマティクス自動車保険※では、安全運転によって削減されたCO₂の排出量を独自のアルゴリズムで可視化する新サービスを開始している。

このサービスにより一層の安全運転・エコ運

※テレマティクスとは「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPSなどの車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み

安全運転によるCO₂排出削減量確認画面 (イメージ)



- ① 1カ月間のお客さま個人の安全運転によるCO₂排出削減量
- ② ①をスギの木が1年間に吸収するCO₂量および燃料に換算した場合の数値
- ③ 月間CO₂排出削減量の推移グラフ
- ④ テレマティクス自動車保険加入者全体が1カ月で削減したCO₂排出量合計
- ⑤ ④を東京ドームの個数に換算した場合の数値

転を促進しカーボンニュートラルの実現をお客さまと共に目指している。

また、温暖化の進行により、今後、洪水の被害がさらに増大する可能性が予想されている。これら未曾有の災害に備えるためには、将来の気候変動の影響を考慮したハザードマップが必要になる。そこで、MS & A D インシュアランス グループは、東京大学と芝浦工業大学との産学連携プロジェクトにおいて、「将来洪水ハザードマップ」を開発した。MS & A D インターリスク総研のウェブサイトの一部を無償公開し、社会のニーズに応えている。

MS & A D インシュアランス グループは社会に安心・安全を提供する保険事業者として、自然災害による被害や損失をなくす、もしくは軽減する商品・サービスの提供を通じて、今日もサステナブルな社会を支えている。

(国内広報部主任研究員 見城真由美)